



# こくろうよなご

第12号  
2025年2月25日  
発行責任者 倉下文明  
編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！

## 厳しさを増す生活・職場実態！

### 第98回拡大地方委員会を開催

去る2月16日、米子市文化ホールにて第98回拡大地方委員会を開催しました。  
25春闘をはじめ、安全・安心な職場づくり、ローカル線を守る闘い、選挙闘争勝利、組織の強化・拡大など当面する運動について意思統一を行なってきました。



「地方委員会宣言」を提案、全体の拍手で承認され、議長解任に続いて、当日会場にて作成した「25春闘勝利に向けた檄布」を、倉下委員長より西日本本部の大北書記長に手渡しました。

地方委員会は、青柳副委員長の司会ではじまり、議長には浜田地区分会の大石代議員を選出、倉下地本執行委員長挨拶（別掲）に続き、来賓の皆様より激励のご挨拶を頂きました。

吾郷書記長より「当面する活動方針（案）」について提案があり、地方委員をはじめ多くの構成員より活発な意見・要望を頂きました。業務関係・西日本本部の答弁を受け、吾郷書記長の集約（別掲）の後、活動方針（案）が承認されました。細田執行委員より

いる。サービスの低下ではないか。益田営業所も廃止となるが、清掃業務の直営化などJR社員の働き方にも影響を及ぼしているのではないかと。また、

#### ○千葉委員（米子）

昨年8月からシニア社員になったが、賃金が2〜3割減っており、生活は厳しい。25春闘では頑張ってもらいたい。伯備線岡山支社管内で竹倒・倒木が続いている。現場の負担も大きく対策を強化してほしい。

#### ○岡田委員（出雲）

再雇用になると賃金4割ぐらい減となる。生活も大変。春闘では納得できる賃上げを求めたい。指令の統廃合で組合員が配転になり、掲示板が撤去されるのではないかと。また、

#### ○北村工務協代表

掲示板について、現行3名以上だが、今後組合員が減少することから、設置基準の見直しが必要ではないか。今年シニア社員に移行したが、賃金の少なさに驚いている。シニアの賃金改善を求めたい。社会人採用者の教育の負担軽減を求めたい。昨年暮れ待避時間が5分前から3分前に変わ

### 執行委員長挨拶（要旨）

今年、福知山線事故から20年、伯備線事故から19年目となる。今年3月のダイヤ改正では、特急列車のワンマン運転が実施となり、現場からは不安の声が出されている。コロナ禍から続く効率化により、「このまま働き続けることが出来るのだろうか」という不安を多くの仲間が抱えているのではないかと。また、

「仕事・安全総点検」運動を強化し、団体交

渉なども取り組んで行きたい。24春闘では、4500円のベアを勝ち取ったが物価高には、到底追い付いていない。一方、この間、大企業は史上最高益を更新、溜め込んだ内部留保金は600兆円とも言われており、賃上げ原資はある。25春闘では、最低賃上げが必要だ。また、関連会社における賃上

ではないか。掲示板が少しでも残るように会社と話をしたい。ホーム上の迅速な除雪対応について、要求してもらいたい。分会の廃止が提起されているが、組合員の負担にならないよう配慮をお願いしたい。

#### （来賓の皆様）

- 雲南市議会議員 福間 守 様
- 出雲市議会議員候補 三島 よしひろ 様
- 国労西日本本部 大北 真也 様

更するとの説明があった。社員が納得する説明がないままの変更はおかしい。意見を挙げることで鳥取管理室は実施されてない。発言に対して若手社員からは、拍手もあつた。提案が次々とあつたが、交渉しても会社側は満足に受け答えできない。交渉時間もやたら長い。もつと中身のある交渉にならないか。（裏に続く）

7月施行の参議院選挙、4月の各市長選挙における推薦候補の必勝を期して頑張る。組織拡大を目指すと共に、実態に合った機関の再編に取組む。各級機関での真摯な議論と協力を要請する。め



挨拶する倉下執行委員長

○藤原委員（出雲）  
出雲市駅の要員不足も少しづつ解消してきた。雪害によるやくも号の遅延で、寝る時間も取れないことがあった。岡山管内の倒竹・倒木対応をお願いしたい。玉造温泉駅にMV60が設置される。遠隔で締切りが出来るようになる。今後、他駅への導入も進むのではないかと。

○木村交渉委員  
駅の施策について、会社の資料をみてはじめて分かることも多くある。組合にもきちんと提案させるべきだ。益田のメンテックがなくなり、清掃などを社員が受け持つようになる。明らかな労働条件の変更であり交渉事項ではないかと。

○山田運転職協代表  
特急のワンマン化について、プレス発表したからの組合提案はどうか。走行中にお客さ



んに声を掛けられた時の対応はどうするのかなど、いろいろと問題がある。会社は普通列車もワンマンと変わらないと言いが、そうではない。問題点を検証して、見直し要求を挙げていきたい。

○藤江島根県支部代表  
駅ではお客さんのニーズに合わせた働き方とあってはならない。将来展望もなかなか見えないのではないかと。木次指令の廃止で、米子指令に戻った。シニアになって、どれだけ指令で頑張れるのかわからないが、現場はシニアに頼りすぎな面もあるのではないかと。シニア社員へのサポートも必要ではないかと。

**業務部長答弁**

メンテック廃止は急に降ってわいた話であり、作業など詳細について会社と整理をしたい。倒竹・倒木対策は引き続き求めていきたい。187系の冷暖房についても、1年間しっかり検証するように話をしている。除雪については、中国統括本部からの支援も滞っているようだが、現場の負担にならないよう支援を要請したい。施策が次々に提案されていくが、安全軽視にならないか？しっかりと

交渉していききたい。特急のワンマン化、高速運転での不安を聞いています。引き続き問題点など、会社と交渉していききたい。

**西日本本部答弁**

人手不足は解消しつつあると会社は言っている。現場でしっかりと検証してもらいたい。

**書記長集約（要旨）**

25春闘は「物価を上回る大幅賃上げと労働条件改善」を力強く訴えていく必要がある。2月13日に統一要求の申し入れを行い、各エリアで交渉が進められている。米子地本では、3月4日に地本統一行動日を設定している。「一職場一要求作り」など、創意工夫した取組を要請する。2月4日・5日とダイヤ改正・駅の効率化について団体交渉を行った。現場実態から問題点や改善課題を明らかにする取り組みが求められている。誰もが安心して利用できる公共交通を維持し、労働者の働きやすい職場環境の構築に向け、奮闘していく。伯備線事故以降、山陰エリアでは重大事故の発生はないが、中統内では、感電労災、駅

駅の待合室やトイレの撤去については、本社でも訴えていきたい。シニア社員の賃金について、同一労働・同一賃金の観点で格差の解消を求めて、25春闘を頑張りたい。結論ありきで会社提案が組合軽視とならないように、あらゆる場面で訴えていきたい。

構内での脱線、待避不良、墜落や転落労災など重大事故が発生している。職場環境をしっかりとチェックし、様々な観点から点検を行い、安全・安心な職場作りに向け取組を強化する。ローカル線を取り巻く情勢について学習を継続し、鉄道の維持とバス・タクシーとの連携による地域交通の再生について、利用者・自治体・地域住民と連携した取り組みが必要だと考えている。これまで13の自治体と意見交換を行ってきた。木次線利用促進など様々な取り組みを考えている。各支部・分会の協力を要請する。「地方本部1名の拡大」に向けた運動を進めていく。何気ない職場での会話や行動など、常日頃のコミュニケーションが大事になる。



檄布を大北書記長へ！



集約する吾郷書記長

**抑えられる中高年の賃金！**

2月16日、第98回拡大地方委員会に先だち労働講座を開催、松上隆明氏（独立行政法人・労働政策研究リサーチ・アソシエイツ）より、「25春闘を取り巻く情勢と私たちの課題」というテーマで講演を頂きました。

講演では、23年春闘から続く賃上げの背景について、実質賃金の低下に歯止めがかからない・構造的な人手不足・デフレからの脱却・欧米と比べて極端に低い賃金事情、などが言われていました。つまり2008年のリーマンショックで顕著になった人件費も含めた所謂コストカット型経済の弊害が、無視できないほど拡大してきたという事だと思えます。少子高齢化で労働力人口も激減、慌てた経営側が乗り出したのが、一つが高齢者・主婦・学生を総動員しての労働力確保、二つが外国人労働者の拡大、三つがAIの導入です。しかしながら、国内での労働力の確保はもう底をついたという感じですし、日本の賃金の低さ・労働時間の長さの前に外国人労働者も他国へ流れ、設備投資を怠った付けでAIなどの技術革新も外国に大きく遅れを取る始末です。そこで、国内での人材の争奪戦が白熱

最近では、多くの企業で初任給が引き上げられていますが、反面、中・高齢者の賃金の伸びが抑えられていることでした。まさに昨年のJR西日本会社の春闘の回答そのものだと感じました。こんなところで会社模範を大事する会社の姿勢に、「これではなかなか人材獲得も進まないだろうな」と感じると同時に、賃上げを実現するのは労働組合の闘いしかないと改めて決意しました。



講演頂いた松上隆明氏